

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 開講科目名 / Course | 環境保健学概論 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 | |
| 開講区分 / semester offered | 前期 | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 1 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 小嶋 光明 | |
| 担当教員名 / Instructor | 小嶋 光明、恵谷 玲央 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 必修 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 科目の目的と概要 | 私たちの健康は広義の環境と遺伝とに関係している。生活習慣を含む環境の中でも社会的に制御・管理すべき様々なリスク因子と健康影響との関係を理解し、私たちの環境と健康を守るための科学を学ぶ。とくに、環境と健康との関係が明らかにされている因子の特徴と疑われる社会問題に焦点をあて、いかなる科学的なアプローチが行われているかを学び、環境リスクという概念を理解することを目的としている。 | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちの健康と環境との関係を説明できる。 2. がんとは何かを生物学的に説明できる。 3. 健康影響を評価する方法を説明できる。 4. 生活の中の化学物質の安全性がどのように確認され、評価されているのか説明できる。 5. 環境基準とは何かを説明できる。 6. 環境リスクの概念を説明できる。 | |
| DPとの対応 | 1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 01. 環境と健康に関する社会問題 02. 環境保健の基礎概念 03. 健康影響の考え方 04. がんの生物学 05. 人の発がん 06. 安全性試験 07. 環境と健康の関係を分析する疫学 08. 環境保健基準 09. 環境リスク論とリスク心理学 10. 環境リスクの諸問題とまとめ | |
| その他の授業の工夫 | 学生からの質問を受ける時間を設けている。 | |
| 時間外学修 | 講義資料を基に復習し重要なポイントを整理する。 | |
| 評価方法と評価割合 | 筆記試験100% | |
| テキスト | 講義ごとにハンドアウトを配布する。 | |
| 参考書 | | |
| 履修する上で必要な要件 | | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | | |